

都市再生整備計画

くろさき
黒崎地区

ふくおか きたきゅうしゅうし
福岡県 北九州市

令和7年2月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	福岡県	市町村名	北九州市	地区名	黒崎地区	面積	160	ha
計画期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度	交付期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度					

<p>目標</p> <p>大目標：北九州都市圏西部の拠点として、多様な活動を行うことができる、住みたくなる、豊かで居心地のよいまちの創出によるエリア価値の向上</p> <p>目標1：官民連携による豊かで居心地のよい空間の創出</p> <p>目標2：快適・安心安全・歩いて楽しい空間の創出</p> <p>目標3：魅力ある滞留空間の創出</p>

<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>北九州市の西部に位置する、八幡西区の黒崎地区は、古くは江戸時代の長崎街道の頃より、交通の要衝として栄え、市西部（八幡西区、八幡東区、若松区の一部）や筑豊・遠賀地域等を含む北九州西部都市圏の拠点として、商業、業務・サービスに加え、医療・保健機能等の公共公益機能など、様々な都市機能が集積しており、駅の北側には、日本を代表する有名企業などものづくり企業が立地している。黒崎駅は、JRや筑豊電鉄の軌道系アクセスやバスターミナル機能の交通の結節点であり利便性に優れ、近年、黒崎地区ではマンションの建設等により人口が増加している。</p> <p>これまで、文化・交流拠点地区（ホール・図書館・広場等）、黒崎駅前線（ふれあい通り）、駅前のペDESTリアンデッキ、駅西施設の再生・区役所移転、区役所跡地（民間マンション等）、駅南北自由通路、駅北口駅前広場など多くの公共・民間による整備が進められ、民間を主体とした賑わいづくりも行われてきた。</p> <p>しかし、現在、駅東側の大型商業施設の閉鎖や地区内に低利用不動産が増加し、屋間を中心に歩行者通行量が減少するなど、まちの活力が低下している。</p> <p>令和6年3月、市は、目指す将来の都市像やその実現に向けて取り組んでいく重点戦略を示す最上位計画「北九州市基本構想・基本計画」を策定。黒崎地区は、未来に向けて、都市型住宅の集積促進により居住人口の増加を図るとともに、多世代が交わり支え合うまちをつくっていく。また、個性的、特徴的な店舗の出店促進やにぎわいづくりなどにより、歩いて楽しいまちなかを創出する。</p> <p>【経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H19 黒崎中央小学校 開校 ・H24 「文化・交流拠点地区」黒崎ひびしんホール、八幡西図書館 開館 ・H25 コムシティ 再オープン ・R2 大型商業施設閉店 ・R3 コクラ・クロサキリビテーション（民間開発の誘導・企業誘致促進の制度）開始 ・R4 2050まちづくりビジョン 策定 ・R6 新基本構想・基本計画 策定 <p>* 中心市街地活性化基本計画認定による事業実施（H20.7-H26.3）</p> <p>* 都市再生整備計画（第1期）による事業実施（H20-H24）</p> <p>* 都市再生整備計画（第2期）による事業実施（H25-H29）</p>

<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内に低利用不動産が増加し、屋間を中心に歩行者通行量が減少するなど、まちの活力が低下。ふれあい通りや長崎街道周辺など特色ある空間が活かされていない。 ・官民連携による「社会ニーズに適応した都市機能の集積・更新」、「公共空間や低利用不動産を含めた民有地を有効に活用し、個性的、特徴的な店舗の出店促進やにぎわいづくり、滞留空間・回遊性創出」の取組みが必要。
--

<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>①北九州市基本構想・基本計画（2024-2040）（令和6年3月策定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市目指す都市像：つながりと情熱と技術で、「一歩先の価値観」を体現するグローバル挑戦都市・北九州市 ・都市型住宅の集積促進により居住人口の増加を図るとともに、多世代が交わり支え合うまち ・個性的、特徴的な店舗の出店促進やにぎわいづくりなどにより、歩いて楽しいまちなかを創出 <p>②北九州市都市計画マスタープラン（2018-2040）（平成30年3月改定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州都市圏の西部の中核として、周辺の市町村も含めた都市圏を対象とする高次の都市機能の集約・維持・向上を図る地域 ・1 産業の振興を図り、副都心にふさわしい、多くの人が集まり、活力のあるまち、2 街なかに多くの人が住み、市民の誰もが安全・安心して暮らせるまち、3 長崎街道などの歴史や学術・文化に触れ、多くの人が夢をはぐくみ、訪れたいまち、4 山や川などの豊かな自然を活かし、水と緑の潤いを感じられるまち をつくる <p>③2050まちづくりビジョン（2022-2050）（令和4年3月策定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちのビジョン 個性輝くアクティブタウン 多様性を認め合い、支え合う、みんなが住みたくなるまち ・まちづくりの方針 1 医・食・住の機能がコンパクトに集積、2 ゼロカーボン・ローコストな住宅、3 多世代が交わり支え合う、4 個性あふれるユニークな店舗、5 シンボリックな、自然と人が集う、賑わいと出会いの場、6 車優先からヒト優先の道路空間へ

<p>一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォークアブル推進事業の計画</p> <p>滞在快適性等向上区域の考え方</p> <p>JR黒崎駅を拠点とした滞在快適性等向上区域を設定し、官民一体となって居心地の良い、歩いて楽しいまちなかを創出する。</p> <p>滞在快適性等向上区域での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアの個性を引き出し、価値を高める、官民連携による都市のデザインを策定する ・歩行者の利便性向上のための道路空間整備や憩い、待合い等のための滞留空間の整備を行う
--

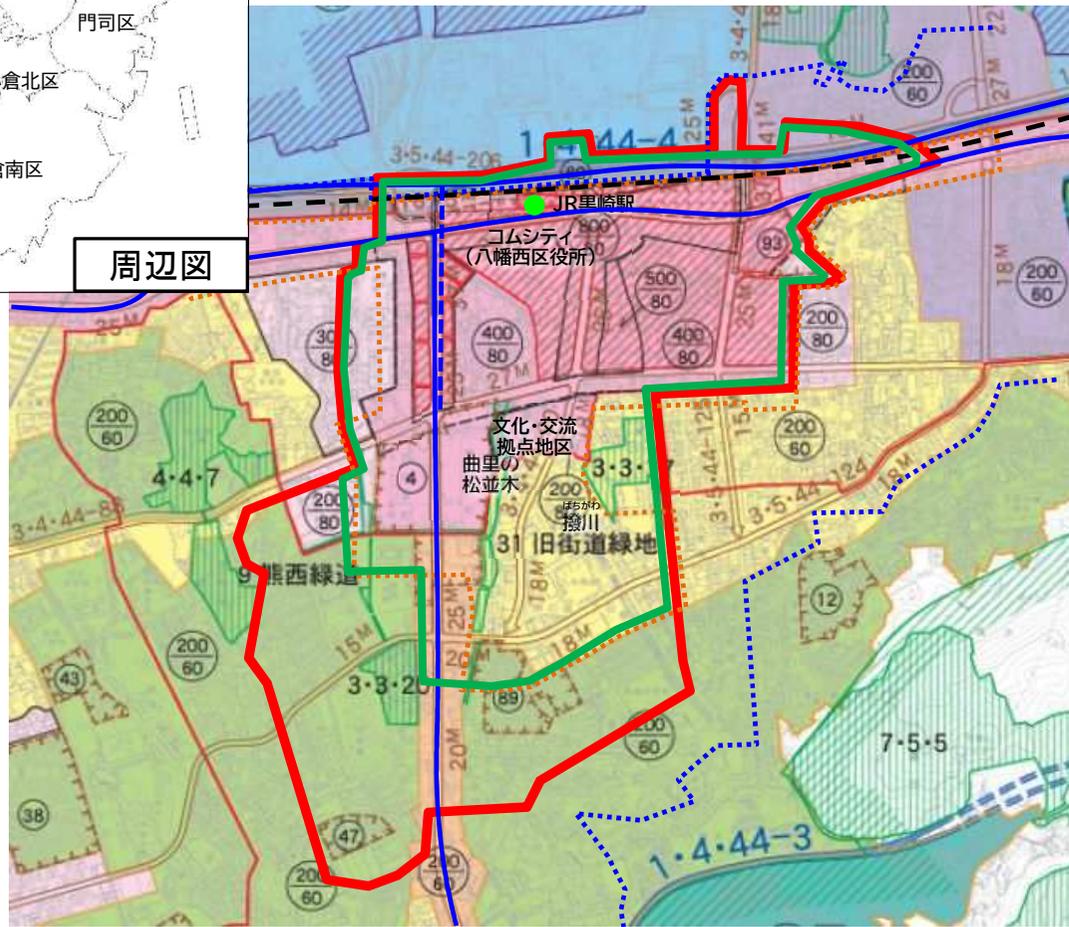
目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
アクティビティの種類	日/人	公共空間等アイレベルのオープン空間でのアクティビティの種類（商店街周辺、通年（2日/月）、平日昼間（11時から16時））	豊かで居心地のよい空間、歩いて楽しい空間、魅力ある滞留空間の創出により、多様な活動ができていくかを把握	5種類	R5年度	15種類	R11年度
歩行者通行量	人	商店街周辺の歩行者通行量	豊かで居心地のよい空間、歩いて楽しい空間、魅力ある滞留空間の創出により、にぎわいができているかを把握	13,659人	R4年度	14,300人	R11年度
居住人口	人	都市再生整備計画区域の居住人口	豊かで居心地のよい空間、歩いて楽しい空間、魅力ある滞留空間の創出により、住みたいまちとなっているかを把握	15,088人	R5年度	15,800人	R11年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【官民連携による豊かで居心地のよい空間の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアの個性を引き出し、価値を高める、官民連携による都市のデザイン 	<p>【基幹事業】（滞在環境整備事業）エリアの価値向上に向けた都市デザイン検討</p>
<p>【快適、安全・安心で、歩いて楽しい空間の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の利便性向上のための道路空間整備 	<p>【基幹事業】（滞在環境整備事業）ウォーカブル空間の創出に向けた調査・検討</p> <p>【基幹事業】（滞在環境整備事業）ウォーカブル空間の創出に向けた社会実験</p> <p>【基幹事業】（高質空間形成施設 緑化施設等）</p> <p>快適な歩行空間の創出に向けた緑化施設等整備（植樹樹・休憩施設）</p> <p>（再掲）</p> <p>【基幹事業】（滞在環境整備事業）エリアの価値向上に向けた都市デザイン検討</p>
<p>【魅力ある滞留空間の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憩い、待合い等のための滞留空間の整備 	<p>（全て再掲）</p> <p>【基幹事業】（滞在環境整備事業）エリアの価値向上に向けた都市デザイン検討</p> <p>【基幹事業】（滞在環境整備事業）ウォーカブル空間の創出に向けた調査・検討</p> <p>【基幹事業】（滞在環境整備事業）ウォーカブル空間の創出に向けた社会実験</p> <p>【基幹事業】（高質空間形成施設 緑化施設等）</p> <p>快適な歩行空間の創出に向けた緑化施設等整備（植樹樹・休憩施設）</p>
<p>その他</p>	
<p>【黒崎地区のポテンシャルを活かした官民連携プラットフォーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地権者や企業、商店街・自治会・まちづくり団体等の地域団体、行政など、多様な掛け合わせで、新たな挑戦の取組を実施・支援する組織を設置予定。 <p>【その他官民連携の取り組み事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家戦略特区 道路占用の規制緩和により、道路を活用したマルシェ、イベント等を実施中。（2団体、平成29年9月～） ・商店街、企業、市等から成るDE-PUBLISH推進協議会を設立し、商店街エリアのリノベーションを推進。（令和4年12月～） ・まちなかの空き地などの低利用不動産を、官民連携により、憩いやにぎわいの場として開放し、暫定的な土地活用の方法を提案する社会実験を実施予定。（令和6年秋頃） 	

<p>黒崎地区(福岡県北九州市)</p>	<p>面積 160 (110) ha</p>	<p>区域 八幡西区黒崎、藤田、筒井町、菅原町、熊手、岡田町、岸の浦、東曲里町、東王子町、西王子町、南王子町、小鷺田町、幸神、東鳴水</p>
----------------------	--------------------------------	--

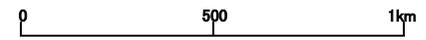


周辺図



- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域

- 凡例
- 都市再生整備計画区域(黒崎地区 160ha)
 - 滞在快適性等向上区域(110ha)
 - 都市機能誘導区域
 - 居住誘導区域
 - 官公庁
 - 国道
 - 鉄道(JR)



黒崎地区(福岡県北九州市) 整備方針概要図(まちなかウォーカーカブル推進事業)

目標	大目標:北九州市都市圏西部の拠点として、多様な活動を行うことができる、住みたくなる、豊かで居心地のよいまちの創出によるエリア価値の向上	代表的な指標	アクティビティの種類 (種類)	5	(R5年度)	→	15	(R11年度)
	目標1:官民連携による豊かで居心地のよい空間の創出		歩行者通行量 (人)	13,659	(R5年度)	→	14,300	(R11年度)
	目標2:快適・安心安全・歩いて楽しい空間の創出 目標3:魅力ある滞留空間の創出		居住人口 (人)	15,088	(R5年度)	→	15,800	(R11年度)

